

# 職員の不祥事防止に向けた取組み

～県民に信頼される教職員であるために～

平成 27 年 10 月  
山形県教育委員会

## 取組みの背景

◆教職員による重大な不祥事が相次いで発生

### 【知事部局】

- ・強要未遂等による逮捕事案
- ・児童ポルノ製造による逮捕事案

### 【教育委員会】

- ・ひき逃げによる死亡事故
- ・酒気帯び運転

不祥事の背景・要因を分析したうえで、実効性のある具体的な取組みに全庁を挙げて取り組んでいく必要

## 不祥事の背景・要因

### ■わいせつな行為等の事案

- ☞ 規範意識不足、自制心不足、仕事や私生活上の悩み など

### ■酩酊による粗野な言動等の事案

- ☞ 自制心不足 など

### ■その他の不法行為

- ☞ 規範意識不足 など

### ■飲酒・酒気帯び運転

- ☞ 規範意識不足、自制心不足、私生活上の悩み など

- 深夜まで一人で時間外勤務をした後、職場のパソコンを使用して強要文書を作成した事例も
- 精神的、身体的な健康不良が要因の事例も

## 不祥事による影響

- ・全ての教職員及び県行政全体の信用失墜
- ・職員本人への厳しい制裁
- ・私生活・家族関係の崩壊
- ・被害者やその家族への大きな影響

実効性のある具体的な取組み

## ▶▶全庁的な取組み

### ◎職場から不祥事を出さないための取組み

- ・管理監督職員の率先垂範と部下職員への指導・監督の徹底
- ・職場内のミーティングによる職員同士の話し合いの実施
- ・不祥事を出さない旨の宣言文の作成・掲示による職員相互間の確認
- ・長時間に及ぶ時間外勤務命令の見直し等による時間外勤務の適正化

### ◎教職員一人ひとりの倫理観を高める取組み

- ・ワークショップ形式による研修等の充実強化による倫理意識の徹底
- ・セルフチェックシートによる自己点検
- ・パソコン等の業務目的外使用の禁止等情報セキュリティ対策の徹底
- ・懲戒処分事案等の情報共有
- ・不祥事防止に向けた啓発リーフレットの活用

### ◎所属長等による教職員の状況把握

- ・所属長による面談等（業務上の課題のみならず、個人的な悩み等も含めて教職員の状況を把握）
- ・病気休暇・休職中の教職員及び病気休暇等を取得したことのある教職員の状況把握

※ 以下の取組みは、職場内でのミーティングの結果を踏まえ、不祥事を出さない旨の宣言文に掲載された各職場及び教職員自らの取組みについて、主なものを例としてまとめたもの。

## ▶▶各職場での取組み（例）

- ・職場内の円滑なコミュニケーションの促進と、明るく風通しの良い職場環境づくり
- ・業務上の課題や進捗状況の共有、業務の平準化などにより一人で抱え込まないよう組織全体で対応
- ・朝礼等において持ち回りで当番を決め、挨拶の復唱や不祥事を出さない旨の宣言を読上げ
- ・職場内（全体や係・班ごと）で主担当を決め、定期的にミーティングを実施
- ・公務員倫理や不祥事の事例等について話し合う職場研修等の実施 など

## ▶▶教職員自らの取組み（例）

- ・県職員としての自覚と責任感を持ち、法令遵守の徹底と倫理観の保持に努める
- ・情報モラルの向上や節度ある飲酒など、規範意識や自制心を醸成
- ・職員同士の交流により同僚意識を深めるなど、職員相互間のコミュニケーションを促進
- ・時間外勤務の縮減や休暇の積極的取得によるワークライフバランスの促進
- ・余暇の過ごし方を工夫するなど私生活の充実によるストレスの解消と心身のリフレッシュ など

再び不祥事を起こすことのないよう、全庁を挙げて繰り返し繰り返し着実に実行